

番号	1-2-2	表題	既存施設の耐震補強設計における非線形解析の導入効果について	
内容	<p>下水道局では、震災対策として、首都直下地震などの想定される最大級の地震動に対し、必ず確保すべき機能（揚水、簡易処理及び消毒機能）に加え、導水機能（流入きよ、放流きよ等）・汚泥処理機能を新たな対象とし、水再生センター及びポンプ所の耐震化を推進している。</p> <p>しかし、これらは、稼働中の施設や水位を有する施設であるため、耐震化を図るには、水処理設備、揚水設備等を含む運転管理上のさまざまな制約を受け、耐震補強が困難となる場合がある。</p> <p>本報告では、水再生センター・ポンプ所の耐震化における課題を挙げながら、部材の持つ靱性等非線形特性を考慮した非線形解析の導入とその効果について報告する。</p>			
キーワード	震災対策、耐震補強、水再生センター、ポンプ所、非線形解析			
処理区名		位置区分	水再生センター、ポンプ所	
職種区分	土木	施策区分	震災対策	
状態区分	設計	新規性		
実施年度	平成 24 年度～令和元年度	全体期間	平成 24 年度～令和元年度	
担当部署	建設部 土木設計課			
発表履歴	局内	令和 2 年度 設計・工事事例発表会		
	局外			
調査方法	直営調査			
関連情報				